

トップ > ニュース > 医療一般 >

無料配信中
ガイドラインから学ぶ
睡眠時無呼吸症候群
診療のポイント
4月18日(日) 23:59まで

COVID-19
新型コロナウイルス
関連情報

eディテリング

獲得可能
アップ数 **6,104up**締め切りまで
7日以内 **1,200up**

デイリークエスト 2up
Doctors' Picksにアクセス
(1日1回まで)

eディテリング
スタンプを確認

ケアネット会員限定！
会員特典

本日の臨床〇xクイズ

臨床検査技師は医師の指示の下で静脈採血を行うことができる。

クイズに答えて
アップを獲得する

人気記事ランキング

週間 月間

1 新型コロナ、第4波の大波は「これまでとは別世界」～呼吸器科...
医療一般

2 新型コロナワクチン、予診票で確認すべきポイントは？/厚労省
医療一般

3 発症後2日でウイルス排出量ピーク、新型コロナ治療が困難な理...
医療一般

4 新型コロナワクチンによるアナフィラキシー、高齢者での管理...
医療一般

5 市中肺炎入院の抗菌薬投与、3日間は8日間に非劣性/Lancet
ジャーナル四天王

6 ファイザー社ワクチン6か月後も有効、南ア変異株にも
医療一般

COVID-19、退院後もさまざまな臓器疾患リスクと関連/ BMJ

高カリウム血症改善剤 **ロケルマ**

新型コロナワクチンによるアナフィラキシー、高齢者での管理は？

提供元：ケアネット



ツイート

いいね！ 3

公開日：2021/04/14

COVID-19ワクチンによるアナフィラキシーの発生頻度は10万回に1回～100万回に5回程度と稀であるものの、高齢者のアナフィラキシーの管理はとくに慎重に対応する必要がある。欧州アレルギー臨床免疫学会（EAACI）、欧州老年医学会（EuGMS）らは合同のワーキンググループを発足、COVID-19ワクチンによる高齢者のアナフィラキシーの管理に関する公式見解（position paper）を、Allergy誌オンライン版2021年4月2日号に報告した。



position paperは下記5項目で構成され、それぞれ推奨事項が提案されている。

- 1.COVID-19ワクチンとアナフィラキシー
- 2.高齢者におけるアナフィラキシー症状
- 3.高齢者における重度のアナフィラキシーのリスク因子
- 4.高齢者におけるアナフィラキシーの管理
- 5.臨床でのアナフィラキシー反応の予防と管理

本稿では、一部内容を抜粋して紹介する。

「COVID-19ワクチンとアナフィラキシー」、頻度や傾向は？

米国のワクチン有害事象報告システム（VAERS）で報告されたデータの最初の分析では、ファイザー社のmRNAワクチン100万回投与当たり11.1例のアナフィラキシーが報告された。続く2021年1月18日のVAERSレポートでは、ファイザー社ワクチン接種者で100万回投与当たり5回、モデルナ社ワクチン接種者100万回投与当たり2.8回のアナフィラキシーが報告されている。ワクチンに使用されているポリエチレングリコール（PEG）がアレルギー反応を引き起こす可能性がある」と指摘されている。

ファイザー社ワクチンでのアナフィラキシー症例の年齢中央値は40歳（27～60歳）で、報告された症例の90%は女性。アレルギー反応は、常にではないものの、多くの場合、重度のアレルギー反応の既往歴のある人に発生した。

また、mRNAワクチンの臨床試験段階では、痛み、倦怠感、頭痛、発熱などの局所および全身性反応の発生数は、若年者よりも高齢者で少なかった。

「高齢者におけるアナフィラキシー症状」、若年者との違い

2019年に報告がまとめられた欧州のアナフィラキシーレジストリでは、昆虫毒や鎮痛薬、抗生物質などによりアナフィラキシーを発症した65歳以上1,123人のデータが解析されている。発現したアナフィラキシー症状は若年成人と高齢者で類似していたが頻度は異なり、高齢者では心血管症状がより頻繁に発生していた（若年成人の75%に対して80%）。

主な心血管症状は意識喪失（33%）で、めまいと頻脈については若年成人に多くみられた。心停止は、高齢者の3%と若年成人の2%で発生。皮膚症状は最も頻繁にみられ、蕁麻疹と血管性浮腫は通常は他の症状の前に現れる。皮膚症状のない高齢患者のアナフィラキシー反応の重症度は、若年成人と比較して増加した。消化器症状は、両方のグループで同様の割合で発生していた。

Medical Gateway
医療情報チェックで **アップ獲得**

Web **講演会**

eディテリング

[まとめ] 解明ミトコンドリア～糖尿病研究最前線～

2up



第4回 森野先生ご解説動画

08:41

100up



メーゼントの作用機序から考える、今後の進行期MS治療

11:13

100up



ミトコンドリア読み物版コンテンツ 第4回

1ページ

100up



Wearing-offの早期診断と運動合併症の治療

18:52

100up



ミトコンドリア読み物版コンテンツ 第1回

1ページ

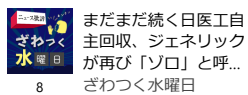
100up



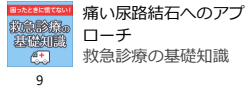
もっと見る

おすすめ期間中のすべてのeディテリングを視聴すると**コンプアップ20up**が獲得可能！

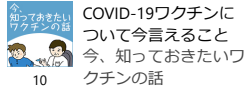
まだコンプアップを獲得できません



まだまだ続く日医工主回収、ジェネリックが再び「ソロ」と呼ぶ水曜日



痛い尿路結石へのアプローチ 救急診療の基礎知識



COVID-19ワクチンについて今言えること 今、知っておきたいワクチンの話

医師閲覧ランキング



林先生とコム太が楽しく解説! CareNet.comの使い方
視聴時間 4分50秒



MEDuLite 製品紹介なし
中立的な臨床医学動画
世界最大医学メディアの医師生涯教育
今すぐチェック



Breast Cancer Frontline B
乳がん診療 Frontline
CareNet × 経緯



W経緯
エキスパートの手術手技を動画で配信

呼吸器症状、とくに呼吸困難は、高齢者で頻繁にはみられていない（若年成人の70%に対して63%）。ただし、チアノーゼ、失神、めまいは、高齢者のショック発症を高度に予測していた。Ring and Messmer 分類のGrade III（47%）およびGrade IV（4%）を含む重度のアナフィラキシー反応は、65歳以上で多くみられた。

高齢患者の30%でアドレナリンが投与され、60%で入院が必要であり、19%が集中治療室（ICU）で治療された。Grade IIおよびIIIの症例では、若年および中年の成人と比較して、有意に多くの高齢者が入院およびICUケアを必要としていた。

「高齢者における重度のアナフィラキシーのリスク因子」

高齢者における重度のアナフィラキシーのリスク因子として、「併存疾患」と「服用薬と多剤併用」を挙げている。併存疾患として、上述のレジストリでは高齢であることと肥満細胞症の併存が重度のアナフィラキシーのリスク増加の最も重要な予測因子であった。遺伝性α-トリプトファン血症もリスク因子となる。虚血性心筋症ではアナフィラキシーの重症化および死亡リスクが高くなる。アテローム性動脈硬化症の病変により、アナフィラキシー中の低酸素症および低血圧に対する耐性が低下することも報告されている。レジストリでは、心血管疾患、甲状腺疾患、およびがんが若年成人よりも多くみられた。

服用薬については、レジストリでは重度のアナフィラキシーリスクの補因子となる薬剤（ACE阻害薬、アンジオテンシンII受容体拮抗薬、β遮断薬、アセチルコリン、プロトンポンプ阻害薬など）は、若年成人（18%）よりも高齢者（57%）で有意に多く処方されていた。年齢とは独立して、アレルギー曝露と近い時期に投与されたβ遮断薬とACE阻害薬は、重度のアナフィラキシー発症リスクとの関連がみられたが、アスピリンとアンジオテンシンII受容体拮抗薬では確認されなかった。

そのほか、抗不安薬、抗うつ薬、催眠薬等中枢神経系に作用する薬で治療されており、アナフィラキシー症状や兆候に対する認識に影響を与えている可能性のある高齢者には、注意を払うことが重要となる。

「高齢者におけるアナフィラキシーの管理」、アドレナリン使用の注意点は？

EAACI および世界アレルギー機構のガイドラインでは、アナフィラキシーの第一選択療法としてアドレナリンの迅速な筋肉内注射が推奨されており、高齢者においてもアドレナリンが重度のアナフィラキシーに作用することが報告されている。ただし、アドレナリンの多くの心血管系有害事象は血管内経路を介して発生すると考えられ、血管内投与は原則として避ける必要がある。

心血管疾患の併存は、アナフィラキシー発症時のアドレナリンの使用を制限するものではない。これは、この救急措置において他の薬剤が救命効果を発揮しないためである。高齢患者やアナフィラキシーリスクがある心血管疾患のある患者においても、アドレナリン投与に絶対的な禁忌はない。アドレナリン投与後、心室性不整脈、高血圧、心筋虚血などの重篤な副作用は報告されていない。ただし、アナフィラキシー発症の高齢患者では、アドレナリン注射後に有害心イベントを経験する可能性が高く、80歳以上の患者が最もリスクが高いという報告がある。そのため、心血管疾患併存患者がアナフィラキシーを発症した場合、アドレナリン投与のリスクとベネフィットを迅速・慎重に比較検討する必要がある。

（ケアネット 遊佐 なつみ）

原着論文はこちら

[Bousquet J, et al. Allergy. 2021 Apr 2. \[Epub ahead of print\]](#)

掲載内容はケアネットの見解を述べるものではありません。（すべての写真・図表等の無断転載を禁じます。）

関連記事

COVID-19 関連情報まとめ

(2020/02/03)

製造販売承認されました

グリニン様作用薬
エドルミズ錠50mg
Adlumiz
アナモリジン塩酸塩

抗悪性腫瘍剤 CDK4/6及び6倍増剤
ベージニオ錠
50mg
100mg
150mg
注: CDK: Cyclin-Dependent Kinase (サイクリン依存性キナーゼ)
アドマンチン/製薬 株式会社 経緯

日本イーライリリー株式会社 *Lilly*

Doctors' Picks

論文多すぎ…
がん専門医に必要な情報をお届け

5分でチェック。今注目のニュース

CareNet TV 番組視聴はコチラ

プライマリケア医のための
HIV 基礎講座
2

ケアネットからのお知らせ

ご登録情報にお変わりありませんか？

メールアドレス
ポイント交換や会員情報変更、重要なお知らせの際に必要です。

勤務先情報
地域にあった情報をご提供します。

会員情報変更はこちら



「新型コロナワクチン接種に伴う重度の過敏症の管理・診断・治療」を公開／日本アレルギー学会

医療一般 (2021/03/15)



誰もが知っておきたいアナフィラキシー (1) 誘因と増悪因子を整理

特集 (2015/02/04)

視聴されていないコンテンツがあります

このページを印刷する

ツイート

いいね! 3

コメント0件

並び替え

最新

コメントを追加...

Facebookコメントプラグイン

【最新ニュース】



妊娠中のHIV-1患者に対する、ドルテグラビル含有レジメンの有効性／Lancet (2021/04/16)



寒冷凝集素症にsutimlimabは有効か？／NEJM (2021/04/16)



非浸潤性乳がん、浸潤性がんへの進展リスク因子は？日本人患者の分析から (2021/04/16)



新型コロナ、第4波の大阪は「これまでとは別世界」～呼吸器科医・倉原優氏の... (2021/04/16)



高齢日本人EGFR陽性肺がんを対象としたアファチニブ1次治療 (NEJ027) / BM... (2021/04/16)



TNF阻害薬治療中のIBD患者でCOVID-19感染後の抗体保有率低下 (2021/04/16)



乳児への栄養方法とその期間が母親の産後うつ病に及ぼす影響～J ECS研究 (2021/04/16)



尿路感染症ワクチンが動物実験で実現に近づく (2021/04/16)

期間限定 知人医師紹介キャンペーン!! 7,000pt プレゼント 今だけ7倍!! カンタンに紹介できます!